

第2回研究主任研修会

島尻教育研究所が主催する短期研修の中で研究主任を対象とする「第2回研究主任研修会」。去る11月26日(水)に開催し、42名が参加しました。

島尻地区出身の琉球大学川上一准教授が「協働意識を高めるための校内研修のあり方」と題して、見通しを持つ、主体的取組、充実した研修、効果性、協働意識をキーワードとして、研修改善の視点や研修方法の改善、研修評価の視点を実践事例を示しながら、講話していただきました。

協議はグループ毎に互いの課題やその解決に向けたアイデアを提供するなど、研究主任としての役割等について、理解を図ることができたようです。



写真1 川上一琉大准教授による講話

【研修会の概要】

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1 開会のことば | 司会 |
| 2 講話 | 琉球大学准教授 川上一 |
| | 「協働意識を高めるための校内研修のあり方」 |
| 3 協議 | |
| (1) 職員の協働意識を高めるための研究主任としての役割 | |
| (2) 職員が主体的に取り組める研究授業及び授業研究会の工夫 | |
| 4 まとめ | 島尻教育研究所指導主事 上原義仁 |
| 5 閉会のことば | 司会 |



写真2 協議の様子

【講話の柱】

- 1 校内研修とは？
- 2 校内研修の充実のために
- 3 研修改善の視点
- 4 研修内容の見直し
- 5 研修方法の改善
- 6 研修評価の視点
- 7 実践事例
- 8 研究主任に期待すること



写真3 上原指導主事のまとめ

受講者の感想

- 講話は、キーワードをおさえながら、わかりやすく説明して下さったので、校内研修のあり方がよく分かりました。
- 現場を知り、豊富な知識と経験を基に講話していただき、分かりやすかったです。研修の改善の視点を持ち、適時評価を行い修正することの大切さが分かりました。
- 研究主任としてやるべきこと、校内で求められている役割について具体的に説明をいただき、分かりやすかったです。企画・調整・発信・継続の力を身につけ、これから校内で確認していきたい。
- 課題を体系的にあらいだし、それに沿って改善策等、メンバーで協議することで充実していました。各学校の情報を共有することもできました。
- 協議では、課題についての改善策等をメンバーと一緒に考えることができ、学校へ持ち帰って実践していけそうなヒントを得ることができました。